

## 令和5年度社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業実績

### 1 東青地区実行委員会【東青地区】

#### (1) 企画

<地域課題解決スタートアップ研修会>【東青教育事務所主管】

○期日：6/27(火) ○会場：蓬田村ふるさと総合センター(蓬田村) ○参加者数：10名

○内容：事業説明、ワークショップ形式による協議

<第1回実行委員会>

○期日：7/14(金) ○会場：蓬田村ふるさと総合センター(蓬田村) ○参加者数：11名

○内容：本事業の説明、目的の共有、村が抱える課題の明確化についての情報交換

<第2回実行委員会>

○期日：9/20(水) ○会場：蓬田村ふるさと総合センター(蓬田村) ○参加者数：11名

○内容：蓬田中学校 第2回避難訓練での第1回実践活動について、今後のスケジュールについて、その他

<第3回実行委員会>

○期日：12/19(火) ○会場：蓬田村ふるさと総合センター(蓬田村) ○参加者数：11名

○内容：蓬田中学校・中沢自治会との第2回実践活動について、今後の活動予定、スケジュールについて（地域課題解決フォローアップ研修会及び会計監査等について）

#### (2) 実践

<事業の実践1>

イベント「避難所設営・運営（災害に備えて）」開催

○期日：9/28(火) ○会場：蓬田村立蓬田中学校(蓬田村) ○参加者数：132名

○内容：蓬田中学校避難訓練と同日に実施し、避難訓練終了後、NPO法人県防災士会三浦一郎事務局長の講演を聞いた後、避難所スペースの設営体験（防災テントの設営及び段ボールパーテーションの設置）を行った。

<事業の実践2>

イベント「避難所設営・運営（避難所運営体験）」開催

○期日：1/23(火) ○会場：中沢公民館(蓬田村) ○参加者数：45名

○内容：中沢自治会住民と蓬田中学校1年生が合同で実施した。前回に引き続き、NPO法人県防災士会三浦一郎事務局長の講演を聞いた後、災害時の避難所における避難者の受付体験及び防災テントの設営並びに段ボールパーテーションの設置を共同で行った。

<地域課題解決フォローアップ研修会>

○期日：2/26(月) ○会場：蓬田村ふるさと総合センター(蓬田村) ○参加者数：45名

○内容：東青地区実行委員会による実践発表及び質疑応答

#### (3) 成果

○防災に関する地域の関係団体が集まる機会を作り、共に活動を行うことで、既存のネットワーク強化につながった。また、防災教育を通じて、中学生だけでなく、委員を含めた様々な立場の人が改めて「地域防災」を学び、見つめ直すきっかけとなり、防災向上の一助となった。

○地域と学校が一緒に取り組むことで、生徒が地域の大切さに気付き、新しい繋がりが生まれた。

#### (4) 活動の様子



【スタートアップ研修会】



【事業の企画会議】



【イベント「避難所設営・運営（災害に備えて）」】



【イベント「避難所設営・運営（避難所運営体験）」】



【フォローアップ研修会】

## 2 下北地区実行委員会「大間郷土活性化委員会よりっとこ」【下北地区】

### (1) 企画

<地域課題解決スタートアップ研修会> 【下北教育事務所主管】

○期日：6/30(金)      ○会場：大間町開発センター(大間町)      ○参加者数 19名

<第1回実行委員会>

○期日：7/18(火)      ○会場：大間町役場(大間町)      ○参加者数 8名

○内容：実行委員長、副委員長の決定、活動内容及び計画について

<第2回実行委員会>

○期日：8/2(水) ○会場：大間町役場(大間町) ○参加者数:7名

○内容：実行委員会の名称、会則の確認、各ブースでの活動内容について、今後の活動予定について、次回開催日時について

<第3回実行委員会>

○期日：8/30(水) ○会場：大間町役場(大間町) ○参加者数：7名

○内容：実行委員会の名称及び開催名の決定、申請書の確認、各ブース活動内容の進捗状況、今後の活動予定について、次回開催日時について

<第4回実行委員会>

○期日：11/14(火) ○会場：大間町役場(大間町) ○参加者数7名

○内容：各ブース活動内容の進捗状況、大間高校へのボランティア依頼について、その他について

<第5回実行委員会>

○期日：12/4(月) ○会場：大間町役場(大間町) ○参加者数8名

○内容：「よりっとこ」イベントの成果及び反省・課題について、次年度の開催時期、課題改善、予算確保等について、その他について

<第6回実行委員会>

○期日：1/18(木) ○会場：大間町役場(大間町) ○参加者数8名

○内容：フォローアップ研修会の発表資料の検討について、その他について

※随時 SNS による意見交換を行った。

(2) 実践

<事業の実践1>

○期日：1/26(日) ○大間町開発センター(大間町) ○参加者数：151名

○内容：「より良い郷土にしたい」という想いを共有する地域人財や企業・団体等が開催するイベントを企画し、実施した。

- (1) 電源開発(株)大間現地本部：工作コーナー、エネルギー展示コーナーの運営を行った。
- (2) 明治安田生命相互保険会社むつ大間営業所：骨密度測定や野菜摂取量測定、脳年齢チャレンジ測定を行った。
- (3) 大間町地域づくり団体ツナグ：エアー遊具4台による子どもの遊び場の提供と絵本の読み聞かせを行った。
- (4) 大間町地域包括支援センターくろまつ：Salon ano ano(マッサージ)の運営を行った。
- (5) 大間不動産合同会社：フリーマーケットの開催と大間町食生活改善推進協議会による軽食の提供(塩おにぎりと豚汁)、大間高校ボランティアによる軽食の提供(アゲ魚っこを使った料理)を行った。

<地域課題解決フォローアップ研修会>

○2/28(水)に大間町役場にて開催。

○内容：下北地区実行委員会「大間郷土活性化委員会よりっとこ」による実践報告及び質疑応答

(3) 成果

○大間町教育委員会の担当者は、スタートアップ研修会から参加し、地域の方々の大間町に対する思いやイベント参加者の感想等に触れることで、コミュニティの場の大切さを実感する機会となった。

○大間郷土活性化委員会「よりっとこ」のイベントの周知を図るために、大間町広報誌や電源開発(株)の広報誌の中に、ちらしを入れて配付していただいた。そのちらしを見た読みきかせ

団体が共に活動したい旨を実行委員会に依頼し、新たな団体が参加することとなり、ネットワーク構築の一助となった。

○大間高校にボランティアを依頼し、12名の高校生が参加した。本活動が次代へとつなげるための高校生の意識改革となったのではないかと考える。

○反省会やフォローアップ研修会に向けた発表資料を検討する実行委員会では、次年度の開催時期、課題改善、予算確保等も検討され、次年度も継続して開催することが確認された。

○大間町教育委員会の担当者は、本事業を通して地域活性化に向けて考える機会となり、多様な人財と関わり、経験を積むことで資質・能力の向上につながった。

○本事業に実行委員として参加した地域づくり団体及び地元企業等がより強固な関係を構築できた。

#### (4) 活動の様子



【スタートアップ研修会】



【事業の企画会議】



【イベント「よりっとこ」】



【フォローアップ研修会】